

<p>全 体 会</p>	<p>【簡易版千葉県地域生活連携シート必須記載事項・試験的活用について】</p> <p>簡易版千葉県地域生活連携シートについて:用紙に関しては、現行の「千葉県地域生活連携シート」を活用し、記入項目の簡略化で対応する。</p> <p>A 表及び B 表の記入項目について</p> <p>A 表:千葉県地域生活連携シート(入院時等)</p> <p>A 表の記入項目について、本人基本情報、本人の性格、家族背景、服薬情報を優先的に記入すべき項目と提案</p> <p>B 表:千葉県地域生活連携シート(退院時)</p> <p>B 表(各医療機関で使用している看護サマリー、退院サマリー同様)記入項目について、本人の身体情報、医療行為、家族の理解度、介護の覚悟度を優先的に記入すべき項目と提案。追加事項として、刻み食や嚥下調整食に関する明確な記載、最終排泄日、カテーテル最終交換日の記載が求められた。</p> <p>活用の施行と改善:委員からの意見を取り入れたシートを作成し、流山市内の医療機関、介護事業所にて試験的活用を開始することとする。活用開始半年後に、シートの活用についてアンケートを行い、利用者や関係者からのフィードバックを受け必要に応じシートの改善を行っていく。</p> <p>【看取りを目的とした短期入所生活介護活用の現状について】</p> <p>看取りに関し、特別養護老人ホームのショートステイを活用し利用者のケアのため訪問看護事業所を活用した例があった。流山市では、特別養護老人ホームのショートステイでの看取りはどのように行われているのか聞き取り調査を行い、制度の問題について調べたことを報告。</p> <p>現行制度:特別養護老人ホームショートステイにおいて、現時点では看取り加算がない。令和6年度介護報酬改定では看取り加算が設けられることとなった。</p> <p>流山市内施設聞き取り:流山市内ショートステイでの看取りの実施状況の聞き取りを行った結果、具体的な取り組みはまだないとの回答を得た。理由としては、利用者の体調が悪くなった場合、家族に連絡を取り、救急搬送にするか、在宅に戻すかの確認をしているからとのことであった。</p> <p>流山市内訪問看護事業所に「ショートステイ中、施設を訪問したことはあるか」という質問をしたところ、「ない」という回答であった。理由としては、ショートステイ中に訪問できる疾患には制限があること、ショートステイ中体調が悪くなると救急搬送されてしまうことが多いからとの理由からであった。</p>
----------------------	---

ショートステイを活用した、看取りに関する課題と今後の展望：体制づくりと本人、施設、医師、在宅支援者、家族との連携強化や信頼関係の構築が重要であることが指摘された。

【医療・介護現場における利用者やその家族からのハラスメント対策の実態に関するアンケート報告】

介護や医療の現場での利用者やその家族からのハラスメントが社会問題としてとらえられていることから流山市内におけるハラスメントの実態を把握することを目的におこなった。約 250 の市内の介護保険サービス事業所等にアンケートを行い77事業所、203名の職員から回答を得た。

①訪問介護の現場におけるハラスメント問題

ハグや握手を求められることがあるが、その受け入れ方は、個々に異なる。

注意が必要な利用者もおり、対応には十分気を付ける必要がある。

思考や理解力に差がある利用者に対して、ヘルパーの受け止め方も変わることがある。

②訪問看護の現場におけるハラスメント問題

性的興奮による問題や支払いに関するトラブルなどが挙げられた。介護や看護の現場では、男性職員の動向や情報共有が重要であることが示唆された。

③地域包括支援センターの対応策

センターが介入する際には、情報共有や警察への連絡等迅速かつ的確な対応が求められる。初めから二人体制で関わる利用者もおり、安全確保が重視されている。

④施設におけるハラスメント問題

家族からのクレームや支払いトラブルなど、施設スタッフへの負担が大きい。医療や介護にかかわる様々な事例において、外部との連携や情報共有が不可欠であることが示唆された。

⑤医療従事者へのハラスメント問題について

医療従事者もハラスメントにさらされることがあり、その対応について議論された

今後の対応方針と連携強化

各現場での対応策や情報共有の重要性が再認識された。ハラスメント問題に関する教育や啓発活動の充実が求められた。今後も継続し議題として取り上げることとなった。

令和5年度第4回会議 各部会の討議まとめ

<p>多職種連携・体制構築部会</p>	<p>病診施連携班</p>	<p>1.在宅看取り推進のための症例検討会 令和6年1月19日(金)東部地域、令和6年2月16日(金)北部地域</p> <p>2.在宅療養支援事業所の実態調査 在宅医療提供体制について、データからみえる提供体制でなく、受け入れや連携の実態を把握し流山市内の在宅医療推進のため現状や課題を分析する。また、市民や在宅医療介護関係者に対して、在宅医療について活用できる情報提供を行うために実態を調査するもの</p> <p>3.入退院時の他職種連携 入退院時情報共有(提供)の実況調査を千葉県地域生活連携シートの活用に関するアンケートと一緒に実施予定</p>
<p>研修・啓発部会</p>	<p>専門職研修班</p>	<p>1.第5回つむぐ会について 令和6年3月1日(金)18:45～20:45 流山エルズ 多目的ホールにて開催予定 急変時の対応について、在宅医療介護関係者、病院、消防(救急隊)が互いの職域や現状について情報共有することで関係性づくりの一助となり、それぞれの職域の理解を深めることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防を招き、流山市の在宅高齢者の救急搬送の現状について聞く ・救急隊到着から病院受け入れまでを場面わけし、ロールプレイングを行い、場面の問題・課題を明らかにする。他職種が演じることで互いの専門職の職域を理解し、連携を円滑にすることを目的とする
	<p>市民啓発班</p>	<p>1.市民公開講座の振り返り 「流山市でおひとりさまになっても最期までご機嫌に過ごす！備えについて語り合おう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に時間を図り各自練習したが、時間管理が困難であった。時間配分に関し演台に時計を設定するなど時間を確認できるようにする ・今後も40～60台をターゲットとした周知を継続。ホームページ活用 ・今年同様の開催方法を継続し、シリーズ化してはどうか <p>2.おうち療養情報紙の内容検討 【表面】市民公開講座パネルディスカッションの掲載内容 【裏面】定期巡回随時対応訪問介護紹介、相談窓口について 高齢者なんでも相談室に関し QR コードの掲載</p> <p>3.ACP 普及啓発について ACP カードの紹介 東京法規作成「大切な人に伝えてみませんか？」カードについて紹介</p>